

平成22年5月31日  
日本生命保険相互会社

こどものためのミュージカル・プレイ

## 平成22年度「ニッセイ名作劇場」公演開始

- 日本生命保険相互会社（社長 岡本罔衛）は、子どもたちの豊かな情操を育むことを願い、公益財団法人ニッセイ文化振興財団が主催し、劇団四季が制作・出演するミュージカル公演「ニッセイ名作劇場」に協賛しています。
- 平成22年度の「ニッセイ名作劇場」は、6月3日(木)の東京公演（日生劇場）から開始し、5都市で計105回の公演を行い、約15.5万人の小学校6年生を無料招待します。（別紙1）
- 今回は、以下の作品を上演します。

“こころの劇場” 劇団四季ミュージカル  
○第47回ニッセイ名作劇場『嵐の中の子どもたち』（別紙2）



（写真：劇団四季公演より 撮影者：下坂 敦俊）

- 「ニッセイ名作劇場」は昭和39年5月に、当社創業75周年記念事業の一環として、日生劇場（東京）でスタートした小学生無料招待公演です。

今年で47回目を迎えるこの公演は、開催各地の教育委員会・公共団体のご支援のもと、校外学習の一環として、学校単位で小学校6年生を招待しています。

- 第1回公演から昨年までの実績で、4,553回公演し、延べ74,025校の小学校を招待、累計で715万人を超える子どもたちに、夢と感動をお届けしてきました。（別紙3）

- 当社はこの「ニッセイ名作劇場」を通じて、子どもたちの豊かな情操を育むとともに、日本の舞台芸術の振興に、微力ながらもお役に立ちたいと願っています。

- また、当社は「ニッセイ名作劇場」への協賛に加えて、財団法人舞台芸術センターと劇団四季が全国展開する小中学生無料招待公演“こころの劇場”に、公益財団法人ニッセイ文化振興財団とともに、メインスポンサーとして協賛しています。

これにより、当社が協賛するミュージカル公演への今年度の子どもたちの無料招待規模は、全国47都道府県で約53万人になる予定です。

- 「ニッセイ名作劇場」は、内容・規模ともに日本を代表する児童演劇公演として、第5回（昭和43年）、第8回（昭和46年）、第13回（昭和51年）に厚生大臣（当時）から「児童福祉文化賞」を贈られました。

また、文部大臣（当時）から3回にわたって感謝状を受けています。

- 平成5年には、社団法人企業メセナ協議会より、芸術文化振興に貢献した活動に対して贈られる「メセナ賞」を受賞、平成19年には、日本生命とニッセイ文化振興財団が、「ニッセイ名作劇場」を含む、舞台芸術を支援する総合的な芸術・文化の普及活動に対して、「バックステージ支援賞」を受賞しました。

以上

## 平成22年度「ニッセイ名作劇場」概要

主催：公益財団法人ニッセイ文化振興財団

協賛：日本生命保険相互会社

制作・出演：劇団四季

	東 京	大 阪	横 浜	名 古 屋	神 戸
共 催	(財)都民劇場	大阪府 大阪府教育委員会 大阪府教育委員会 堺市教育委員会	横浜市立小学校長会	名古屋市教育委員会	(財)神戸市民文化 振興財団  神戸文化ホール
後 援	東京都	(財)大阪府青少年 活動財団	横浜市教育委員会	—	神戸市  神戸市教育委員会
日 程	6/3~7/13	9/13~9/17  10/18~10/22	10/5~10/8	10/12~10/15  10/26~10/28	11/16~11/19
公演回数 105回	57回	20回	7回	13回	8回
招待人数 155,000人 (予定)	73,000人	37,000人	15,000人	14,000人	16,000人
公演会場	日生劇場	梅田芸術劇場	神奈川県民ホール	中京大学文化市民会館 (名古屋市民会館)	神戸文化ホール

こどものためのミュージカル・プレイ  
～第47回「ニッセイ名作劇場」～

“こころの劇場” 劇団四季ミュージカル

『嵐の中の子どもたち』

今日はハミングバード村の開拓記念日。きれいに飾られた駅前には、式典に参加する村びとたちで大にぎわいです。そんなとき、ボブが伝説の古代遺跡「エルドラド」を見つけたと言い出したことで、彼をリーダーとする不良グループ「山賊団」と、ケンをリーダーとする優等生グループが喧嘩を始めてしまいます。おかげで、大切な開拓記念日はもうメチャクチャ。つまらないことでいがみ合う子どもたちを、校長先生は式典に連れて行かないことにしました。

残された18人の子どもたちは、ボブの言葉を確認するため、「エルドラド」を探しに山奥へ入って行きます。けれども、どんなに進んでも遺跡はみつきりません。それもそのはず、「エルドラド」を見つけたというのは、ボブのウソだったのです。足をケガしたピッキーを、きこり小屋に残して、さらに進んでいくと、足元に不気味な石像が。動かしてみると、向こうに開いた穴のその先に、まぼろしの古代遺跡がそびえ立っているではありませんか。今まで誰も発見できなかった遺跡を前に、みんな大喜び。

それもつかの間、あたりが急に暗くなり、空にはゲンコツ雲が。この雲が出ると、50年に一度という大嵐がやってくる。その言い伝えは的中し、巨大な嵐が子どもたちを襲います。

企画・演出：浅利 慶太  
台 本：劇団四季文芸部  
作曲・編曲：鈴木 邦彦  
振 付：山田 卓  
照 明：紫藤 正樹  
舞 台 装 置：高橋 知子  
衣 裳：大栗 未来  
劇団四季衣裳部  
美 術 監 修：土屋 茂昭

ニッセイ名作劇場 これまでの歩み

年次・演目	作	公演数	招待学校数	招待児童数	主な歩み
第1回(昭和39年) はだかの王様	アンデルセンの童話より 寺山修司 作	80	564	105,780	・S38.10 日生劇場開場 ・S39.5 東京で第1回公演開始
第2回(昭和40年) 王様の耳はロバの耳	ギリシャ神話より 寺山修司 作	50	461	67,638	
第3回(昭和41年) イワンのばか	トルストイの童話より 寺山修司 作	50	454	66,576	
第4回(昭和42年) 王子とこじき	マーク・トウェインの童話より 石坂浩二 作	50	492	66,241	
第5回(昭和43年) みんなのカーリ	飯沢匡 作	50	500	65,947	・S43 「みんなのカーリ」厚生大臣(当時)から児童福祉文化賞受賞
第6回(昭和44年) 空飛ぶ幸吉	飯沢匡 作	50	522	66,278	
第7回(昭和45年) オズの魔法つかい	フランク・パウム 原作 矢代静一 作	50	485	66,202	
第8回(昭和46年) ふたりのロッテ	エーリヒ・ケストナー 原作 矢代静一 脚色	50	515	66,103	・S46 「ふたりのロッテ」児童福祉文化賞受賞
第9回(昭和47年) どうぶつ会議	エーリヒ・ケストナー 原作 井上ひさし 作	50	509	66,343	
第10回(昭和48年) 桃次郎の冒険	阪田寛夫 作	58	597	83,648	・S48.9 第1回大阪公演開始 ・S48.11 (財)ニッセイ児童文化振興財団設立
第11回(昭和49年) ジョン万次郎海を渡る	青井陽治 作	64	667	95,139	・S49.9 第1回神戸公演開始
第12回(昭和50年) 雪ん子	青井陽治 作	77	871	116,762	・S50.7 第1回名古屋公演開始 ・S50.10 第1回福岡公演開始
第13回(昭和51年) 冒険者たち-ガンバとその仲間-	斎藤惇夫 原作 山川啓介 作詞	84	963	130,116	・S51.9 観劇児童数100万人突破 ・S51 「冒険者たち-ガンバとその仲間-」児童福祉文化賞受賞
第14回(昭和52年) ふたりのロッテ	エーリヒ・ケストナー 原作 矢代静一 脚色	84	1,023	130,875	
第15回(昭和53年) モモと時間泥棒	ミヤエル・エンデ原作「モモ」より 梶賀千鶴子 台本	90	1,162	134,686	
第16回(昭和54年) 人間になりたがった猫	ロイド・アリグザンダー 原作 梶賀千鶴子 台本	100	1,218	159,550	・S54.9 1000回公演達成 ・S54.10 第1回札幌公演開始 ・S54.11 第1回横浜公演開始
第17回(昭和55年) むかしむかしゾウがきた	長崎源之助 原作 梶賀千鶴子 脚色	105	1,293	168,833	
第18回(昭和56年) 嵐の中の子どもたち	劇団四季文芸部 台本	105	1,339	169,970	
第19回(昭和57年) 魔法をすてたマジリン	梶賀千鶴子・ 劇団四季文芸部 台本	104	1,361	172,378	・S58.5 観劇児童数200万人突破 文部大臣(当時)より感謝状受贈
第20回(昭和58年) アンデルセン物語	フランク・レッサー 作詞・作曲	110	1,414	183,098	・S58.6 第1回仙台公演開始 ・S58.7 第1回広島公演開始
第21回(昭和59年) エルリック・コスモスの239時間	梶賀千鶴子 作	112	1,431	184,814	・S58.9 第1回北九州公演開始
第22回(昭和60年) 冒険者たち-ガンバとその仲間-	斎藤惇夫 原作 梶賀千鶴子 脚色	111	1,444	184,581	・S60.9 観劇児童数250万人突破
第23回(昭和61年) 嵐の中の子どもたち	劇団四季文芸部 台本	112	1,533	186,377	
第24回(昭和62年) 夢からさめた夢	赤川次郎 原作 浅利慶太・劇団四季文芸部 台本	112	1,675	185,496	
第25回(昭和63年) 新・はだかの王様	アンデルセンの童話より 寺山修司 作	116	1,744	182,790	・S63.6 観劇児童数300万人突破 ・S63.9 2000回公演達成
第26回(平成元年) 人間になりたがった猫	ロイド・アリグザンダー 原作 梶賀千鶴子 台本	117	1,818	190,636	
第27回(平成2年) 王様の秘密	「王様の耳はロバの耳」より 寺山修司 作	118	1,997	194,412	

年次・演目	作	公演数	招待学校数	招待児童数	主な歩み
第28回(平成3年) エルリック・コスモスの239時間	梶賀千鶴子 作	118	2,036	194,875	・H3.6 観劇児童数350万人突破 ・H3.9 台風の為、東京公演2回中止
第29回(平成4年) ジョン万次郎の夢	浅利慶太・ 劇団四季文芸部 台本	120	2,209	198,976	
第30回(平成5年) 歌は友だち	劇団四季文芸部 台本	123	2,171	192,449	・H5.7 観劇児童数400万人突破 ・H5.7 文部大臣(当時)より感謝状受贈
第31回(平成6年) 魔法をすてたマジヨリン	梶賀千鶴子・ 劇団四季文芸部 台本	120	2,246	196,881	・H5.11 (財)ニッセイ児童文化振興財団、「(財)ニッセイ文化振興財団」へ改称
第32回(平成7年) 人間になりたがった猫	ロイド・アリグザンダー 原作 梶賀千鶴子 台本	127	2,167	184,355	・H7.9 第1回京都公演開始 ・神戸公演については、公演会場被災のため、会場を変更し、演目「桃次郎の冒険」に変更
第33回(平成8年) 桃次郎の冒険 雪ん子	{ 阪田寛夫 原案 劇団四季文芸部 作 青井陽治 台本・作詞 }	123	2,348	198,918	・H8.6 観劇児童数450万人突破 ・演目「桃次郎の冒険」:東京、横浜公演 ・演目「雪ん子」:大阪、神戸、名古屋、福岡、札幌、仙台、広島、北九州、京都公演
第34回(平成9年) 雪ん子 冒険者たち -ガンバとその仲間-	{ 劇団四季文芸部 作 青井陽治 台本・作詞 斎藤惇夫 原作 劇団四季文芸部 脚色 }	122	2,368	196,490	・H9.6 3000回公演達成 ・演目「雪ん子」:東京、横浜、京都公演 ・演目「冒険者たち—ガンバとその仲間—」:大阪、神戸、名古屋、福岡、札幌、仙台、広島、北九州公演
第35回(平成10年) 九郎衛門	長崎源之助 作	125	2,388	190,647	・H10.7 観劇児童数500万人突破 ・H10.7 文部大臣(当時)より感謝状受贈
第36回(平成11年) 人間になりたがった猫	ロイド・アリグザンダー 原作 梶賀千鶴子 台本	123	2,597	201,194	
第37回(平成12年) ふたりのロッテ	エーリヒ・ケストナー 原作 矢代静一・劇団四季文芸部 台本	123	2,565	196,699	・H12.6 招待学校数5万校突破
第38回(平成13年) はだかの王様	アンデルセンの童話より 寺山修司 作	121	2,641	195,942	・H13.7 観劇児童数550万人突破 ・H13.9 台風の為、横浜公演2回中止
第39回(平成14年) 人間になりたがった猫 王子とこじき	{ ロイド・アリグザンダー 原作 梶賀千鶴子 台本 マーク・トウェインの童話より 石坂浩二 作 }	123	2,750	200,549	
第40回(平成15年) エルコスの祈り	劇団四季文芸部・ 梶賀千鶴子 台本	126	2,745	204,032	・H15.10 観劇児童数600万人突破 ・H15.10 横浜公演25回を記念し、横浜市長より感謝状受贈
第41回(平成16年) 桃次郎の冒険	阪田寛夫 原案 劇団四季文芸部 台本	124	2,693	200,062	・H16.10 台風の為、神戸公演2回中止 ・H16.10 福岡公演30回を記念し、福岡市長より感謝状受贈
第42回(平成17年) 魔法をすてたマジヨリン	梶賀千鶴子・ 劇団四季文芸部 台本	126	2,743	204,043	・H17.9 大阪公演500回、観劇招待児童100万人、招待校延べ1万校を記念し、大阪府より感謝状受贈
第43回(平成18年) ジョン万次郎の夢	浅利慶太・ 劇団四季文芸部 台本	126	2,675	204,087	
第44回(平成19年) ユタと不思議な仲間たち	三浦哲郎 原作 梶賀千鶴子 台本	126	2,681	201,089	
第45回(平成20年) 人間になりたがった猫	ロイド・アリグザンダー 原作 梶賀千鶴子 台本	100	2,073	159,887	・H20.10 横浜公演30回を記念して、横浜市長より感謝状受贈 ・H20.11 観劇児童数700万人突破
第46回(平成21年) エルコスの祈り	劇団四季文芸部・ 梶賀千鶴子 台本	98	1,877	142,669	・H21.10 台風の為、横浜公演2回中止 ・H21.11 (財)ニッセイ文化振興財団、「公益財団法人ニッセイ文化振興財団」へ名称変更
第46回までの累計		4,553	74,025	7,155,113	

年次・演目	作	公演数	招待児童数
第47回(平成22年) 嵐の中の子どもたち	劇団四季文芸部 台本	105	約155,000 (予定)

## 日本生命による子どもたちの無料招待ミュージカルへの協賛概要

## &lt;ニッセイ名作劇場 こどものためのミュージカル・プレイ&gt;

- ◆作品：『嵐の中の子どもたち』  
“こころの劇場” 劇団四季ミュージカル

主催	(公財)ニッセイ文化振興財団	公演回数	105回
協賛	日本生命保険相互会社	公演都市	5都市
制作・出演	劇団四季	招待児童数	15.5万人

※公演回数、都市、招待児童数は予定

## &lt;こころの劇場&gt;

- ◆作品1：『嵐の中の子どもたち』  
劇団四季ミュージカル  
 ◆作品2：『エルコス の 祈り』  
劇団四季ミュージカル

主催	(財)舞台芸術センター		作品1	作品2
協賛	劇団四季、 日本生命保険相互会社・ (公財)ニッセイ文化振興財団 他	公演回数	123回	179回
		公演都市	41都市	85都市
		招待児童・生徒数	15万人	22.2万人

※公演回数、都市、招待児童・生徒数は予定

## “こころの劇場” について

子どもたちの心に、「生命の大切さ」「人を思いやる心」「信じあう喜び」など、生きていく上で大事なことを舞台を通じて語り掛けたい、という思いから、多くの企業や行政の協力の下、(財)舞台芸術センターと劇団四季が平成20年度よりスタートさせた、日本全国の子どもたちに演劇の感動を届けるプロジェクト。

## “こころの劇場” 公演に関するお問合せ

(財)舞台芸術センター TEL. 03-5403-7050

〒105-0022 東京都港区海岸1-9-18 国際浜松町ビル4階

## (財)舞台芸術センターについて

劇団四季による正統的な芸術文化への理解・普及に向けた活動と成果を基に、公益性を具備した芸術文化活動をさらに積極的に展開することを目的に、昭和48年に設立。